

□ 次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

昔から伝わる言葉に、「失敗は成功のもと」「失敗は成功の母」という名言があります。失敗しても、それを反省して欠点をあらためていけば、必ずや成功に導くことができるという深遠な意味を含んだ教訓です。

私は大学で機械の設計について指導していますが、設計の世界でも、「よい設計をするには経験が大切だ」などということがよくいわれます。私はその言葉を、「創造的な設計をするためには、多くの失敗が必要だ」といいかえることができますと考えています。

なぜなら人が新しいものをつくりだすとき、最初は失敗から始まるのは当然のことだからです。人は失敗から学び、さらに考えを深めてゆきます。

これは、なにも設計者の世界だけの話ではありません。営業企画やイベント企画、デザイン、料理、その他アイデアを必要とするありとあらゆる創造的な仕事に共通する言葉です。つまり、失敗はとかくマイナスに見られがちですが、じつは新たな創造の種となる貴重な体験なのです。

いまの日本の教育現場を見ていると、残念なことに「失敗は成功のもと」「失敗は成功の母」という考え方が、ほとんど取り入れられていないことに気づきます。それどころか、重視されているのは、決められた設問への解を最短で出す方法、「こうすればうまくいく」「失敗しない」ことを学ぶ方法ばかりです。

これは受験勉強にかぎりません。実社会でも通用する知識・教養を教える最高学府であるはずの大学での学習もまた同じです。失敗から学ぶ体験実習のように、自分の力で考え、失敗経験を通じて新たな道を模索する、創造力を培う演習が行われる機会は、悲しいかなほとんどありません。これが、「日本人の欠点」として諸外国から指摘され、また、自らも自覚している「創造力の欠如」にそのまま結びついているのではないのでしょうか。たしかに以前は、ほかの人の成功事例をマネすることが、成功への近道だった時代がありました。そうした時代には、決められた設問に正確な解を素早く出す学習法が有効だったのは事実です。

しかし、ほかの人の成功事例をマネすることが、必ずしも自分の成功を約束するものではなくなったのがいまの時代です。昨日までの成功は、今日の成功を意味しません。そのような時代に大切なのは、やはり創造力です。そして創造力とは新しいものをつくりだす力を意味している以上、失敗を避けて培えるものではありません。

創造力を身につける上でまず第一に必要なのは、決められた課題に解を出すことではなく、自分で課題を設定する能力です。あたえられた課題の答えのみを最短の道のみで出していく、いまの日本人が慣れ親しんでいる学習法では、少なくともいまの時代に求められている真の創造力を身につけることはできません。

設問 筆者がこの文章で述べていることを、次の(1)～(3)のことがらを必ず取りあげて、八〇字以上百字以内でまとめなさい。

- (1) 今の教育の問題点 (2) これからの時代に大事なこと (3) (2)のためにするべきこと

下書き用

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の上段の――部①～⑨の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。また、下段の――部⑩～⑱のカタカナは漢字に直して答えなさい。

- ① みなさん、**速**やかに避難してください。
- ② 台風のせいで屋根が**傷**んでしまった。
- ③ **装**い新たにスイーツ専門店を開業した。
- ④ 私のために時間を**割**いてくれてありがとう。
- ⑤ あなたは日々の行いをきちんと**省**みなさい。
- ⑥ 食後のデザートに旬の**果物**が提供された。
- ⑦ これは**極上**の和牛ステーキに違いない。
- ⑧ あの女性はとてもおしとやかな**大和撫子**だ。
- ⑨ 旅行では必ず**土産**を買うことにしている。

- ⑩ 喉が痛むので、**ジビ**科に行くことにした。
- ⑪ **キショウ**予報士の資格を取るのが目標だ。
- ⑫ 祝日には必ず門の前に**コツキ**を掲げる。
- ⑬ 明日は**キョクチ**的に大雨が降るらしい。
- ⑭ 三学期の学級委員を彼女に**マカ**せる。
- ⑮ 同じ**アヤマ**ちを繰り返してはいけない。
- ⑯ 戦争は人の道に**ゾム**く行いだ。
- ⑰ お祭りで勢いよくおみこしを**カツ**ぐ。
- ⑱ この薬は頭痛にとってもよく**キ**く。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問二 次の①～⑦の慣用句の□には、後の語群のア～コの四字熟語のうちの一字が入ります。その語を含む四字熟語をそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ① □ に引かれて善光寺参り | ・ □ 耳を執 ^と る |
| ② □ を焼く | ・ 濡れ □ で栗 ^{あわ} |
| ③ □ 車に乗る | ・ □ が堅い |

- ④ の尾を踏む
- ⑤ が売れる
- ⑥ が回る
- ⑦ 後ろ を引かれる
- ・前門の 後門の狼
- ・から火が出る
- ・ の根の乾かぬうちに
- ・間 を入れず

語群

ア. 汗牛充棟 <small>かんぎゅうじゅうとう</small>	イ. 馬耳東風 <small>ばじとうふう</small>	ウ. 虎視眈々 <small>こしたんたん</small>	エ. 多岐亡羊 <small>たきぼうよう</small>	オ. 一石二鳥 <small>いつせきにちよう</small>
カ. 舌先三寸 <small>したささんずん</small>	キ. 厚顔無恥 <small>こうがんむち</small>	ク. 危機一髪 <small>ききいつぱつ</small>	ケ. 拍手喝采 <small>はくしゅかつさい</small>	コ. 異口同音 <small>いくどうおん</small>

C 言葉づかい・文法に関する問題

問三 次の①～⑤の傍線部の敬語または言葉づかいには誤りがあります。正しい表現に直しなさい。

- ① 失礼ですが、あなたは大妻中野高校の野崎先生でございますか。
- ② 花子さんは風邪で今日はお休みになるということですね。どうか、お大事にしてください。
- ③ お口に合うか分かりませんが、こちらの和菓子とお茶をいただいでください。
- ④ あなたの話はすべての的を得ていることばかりで、いつも感心させられます。
- ⑤ 吉田さんは岩田さんの言うことに何度も相づちを入れている。

問題は以上です。